

発掘調査最新情報

-しまねの岸辺を掘る！-

近年、県内各地で河川改修事業関連の発掘調査が行われています。調査の結果、奈良時代にさかのぼる大橋川の護岸施設や、江の川下流に位置する大規模な遺跡、宍道湖に接する松江城下町などが確認されました。今回の講座では、発掘調査でわかった新たな事実や歴史的意義などについて、調査を担当した調査員がわかりやすくご説明します。

日時：令和4年7月31日（日）

13:30～15:30

会場：島根県埋蔵文化財調査センター
（松江市打出町33）

定員：60名

- 報告1 ついに発見!?「朝酌渡」推定地の発掘調査
朝酌矢田Ⅱ遺跡（松江市）
講師：岩崎孝平（埋蔵文化財調査センター主任主事）
- 報告2 江の川河口部最大級の拠点遺跡
森原下ノ原遺跡（江津市）
講師：仁木 聡（埋蔵文化財調査センター調査第1係長）
- 報告3 宍道湖岸にみる松江城下町の展開
松江城下町遺跡（魚町6-4外）
講師：東山信治（埋蔵文化財調査センター調査第2課長）

○申込方法

はがき、電話、FAX、Eメールのいずれかで

- ①参加者氏名（同伴者がある場合は同伴者氏名）②住所
- ③電話番号に「連続講座申込」と添えて申込みください。

問い合わせ 島根県埋蔵文化財調査センター管理課
/申し込み 電話：0852-36-8608 FAX:0852-36-8025
E-mail maibun@pref.shimane.lg.jp

※新型コロナウイルス感染状況により中止または延期する場合があります。
※新型コロナウイルス感染症対策へのご協力をお願いします。
※イベントの様子は録画し島根県公式YoutubeCHで公開する予定です。

